

『不思議の国のアリス』の世界に浸れる一冊

『ルイス・キャロルとアリスの不思議な世界 じゃばらポーチBOOK』
レトロな洋書をイメージしたポーチが付録♥ 9/5発売



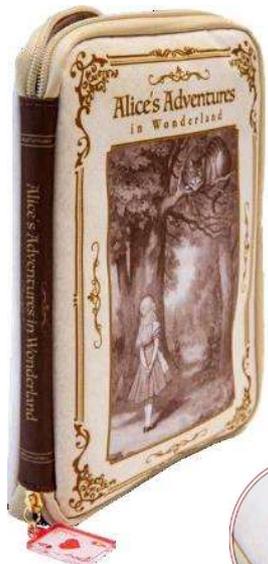
ルイス・キャロルの著書『不思議の国のアリス』を読み解く付録つきムックを、2022年9月5日（月）に発売します。

本誌はジョン・テニエルの挿絵とともに、物語の成り立ちや個性的な登場キャラクターたち、アリスが参加したお茶会の再現レシピ、続編である『鏡の国のアリス』の紹介など、『不思議の国のアリス』の原風景にたっぷり浸れる一冊です。

特別付録は、お茶会に持っていきたくなるような、オシャレで使いやすいじゃばらポーチです。前面には、アリスとチェシャ猫が出会うシーンをセピア色でプリントしており、レトロな洋書を連想させます。文庫や新書、B6判の本もすっぽり入るサイズで、大切な本の折れや傷も防止。さらに文具や、無機質になりがちながジェット類をまとめるのにも役立ちます。

『ルイス・キャロルとアリスの不思議な世界 じゃばらポーチBOOK』発売日：2022年9月5日/価格：2310円(税込)

TOPICS ★『不思議の国のアリス』物語の成り立ちとその背景 ★『不思議の国のアリス』に登場するユニークなキャラクターたち
★『不思議の国のアリス』の聖地を巡る旅 ★『不思議の国』風お茶会レシピ ★『不思議の国のアリス』の続編『鏡の国のアリス』
★映画の国のアリス ほか



▼背面には
白ウサギが♪



トランプモチーフ
の引き手も
かわいい♪



◀ 洋書をイメージした本誌限定オリジナルポーチ

本の表紙をイメージした前面には、原作第6章「ブタとコショウ」より、アリスとチェシャ猫が出会うシーンをプリント。1927年、ジョン・テニエルの原画にジョン・マックファーレンが彩色したイラストを、セピア色でプリントしています。背表紙には原題をプリント。



▼無機質になりがちな
ガジェット類をひとまとめに



◀ モノが落ちにくいじゃばら仕様

シックなブラウンの裏地に、メッシュポケットと、仕切りをひとつずつつけました。薄マチなのに大容量！ A4サイズのバッグにもすっぽり入るので、バッグ・イン・バッグとしても活躍します。

▼大切な一冊を守る読書ポーチとして



次ページでは誌面の一部をご紹介します♪

『不思議の国のアリス』の原風景にたっぷり浸れる誌面の一部をご紹介します♪

アリスは実在の人物だった！ 物語の成り立ちとその背景

世界中で読み継がれている『不思議の国のアリス』は、いつ、どのようにして生まれたのか？ 作者のルイス・キャロルと実在の少女アリスとの関係など、物語の背景にある数々の“不思議”を探ります。

オックスフォード大学のクライスト・チャーチで数学講師を務めるルイス・キャロルは、ある日、学寮長ジョージ・リデルの3人娘たちを連れてピクニックに出掛けました。その道すがら、姉妹はおしゃべりが上手なキャロルにお話をせがみ、キャロルは歳が真ん中のアリス・リデルをヒロインにした冒険物語を即興で披露。先の展開が読めないワクワクするようなストーリーに、次から次へと飛び出してくる個性的なキャラクター、童謡をもとにしたパロディの歌も登場します。



24歳ごろの
ルイス・キャロル



ルイス・キャロルが撮影した
リデル家の3姉妹。右端がアリス

この物語が秀逸だったため「今日のお話を本に書いてほしい」とアリスは懇願し、その期待に応えるべく、キャロルはすぐさまペンを走らせました。記憶をたどってストーリーやキャラクターを整理し、脚色を加えつつあの日口にした冒険物語を文字で再現。そのうえ、自ら挿絵を描くという力の入れよう。こうしてキャロルは、約2年半後に手作りの本を完成させ、アリスにプレゼントしました。これが、『不思議の国のアリス』の原型となる『地下の国のアリス』です。

作中のアリスを翻弄する摩訶不思議なドリンク&スイーツたち。「Drink Me」「Eat Me」からインスピレーションを受けた本誌オリジナルレシピを紹介します。

不思議の国のお茶会を イメージしたお菓子のレシピ

「Eat Me ミニアップルクーヘン」



「“Off with their heads!” いちごとチョコのトランプクッキー」



「Drink Me チェリーシロップのジュース」



『不思議の国のアリス』を 描いた世界の画家たち

『不思議の国のアリス』が世界的に読み継がれているのは、ジョン・テニエルの挿絵に負うところが大きいとされ、以降も多くの画家たちが独自のアリスを表現してきました。

▼アメリカのイラストレーター、
ピーター・ニューエル
Peter Newell (1862-1924)



▼イギリスの画家、ジョージ・
ダンロップ・レスリー
George Dunlop Leslie
(1835-1921)



▼イギリスの
イラストレーター、
チャールズ・
ロビンソン
Charles Robinson
(1870-1937)

